



# 全国保育・幼児教育施設大規模調査 《結果報告》

淀川裕美（センター特任講師）  
高橋翠（センター特任助教）

# 本日の内容

1. 本調査の問い
2. 「保育の質」を捉える視点
3. 調査方法
4. 労働環境（負担感・体調・満足感）の分析結果
5. プロセスの質（保育環境構成、かかわり）の分析結果
6. リーダーシップの分析結果
7. 相互の関連に関する分析結果
8. まとめ

日本の保育・幼児教育施設における  
**保育の質の保障・向上**に関連する  
取り組みの実態・課題を明らかにする

# 「保育の質」を捉える視点

4

「**保育の質**」 = 子どもたちのウェルビーイングのためになる環境と経験のあらゆる特徴を包括するもの (Litjens, 2013).

## 構造の質

- 物的・人的環境の全体的な構造（広さ、人数比、クラスサイズ、労働環境等）

**負担感・体調  
満足感**

## プロセスの質

- 保育者と子どもたち、子ども同士、保育者同士のかかわり（安心感や教育的意図等を含み込む関係性）

**環境構成  
かかわり**

## 実施運営の質

- 現場のニーズへの対応、効果的なチーム形成のための運営（保育計画、研修等）

**リーダーシップ**

※保育者の資格や労働条件に関する国際比較における  
日本の強みと課題（OECD, 2012より抜粋）

## 労働条件

課題：子ども一人当たりの空間の狭さ  
幼稚園の教師一人あたりの子どもの人数の多さ  
（小学校教員と比較したときの）報酬の低さ  
離職率の高さ

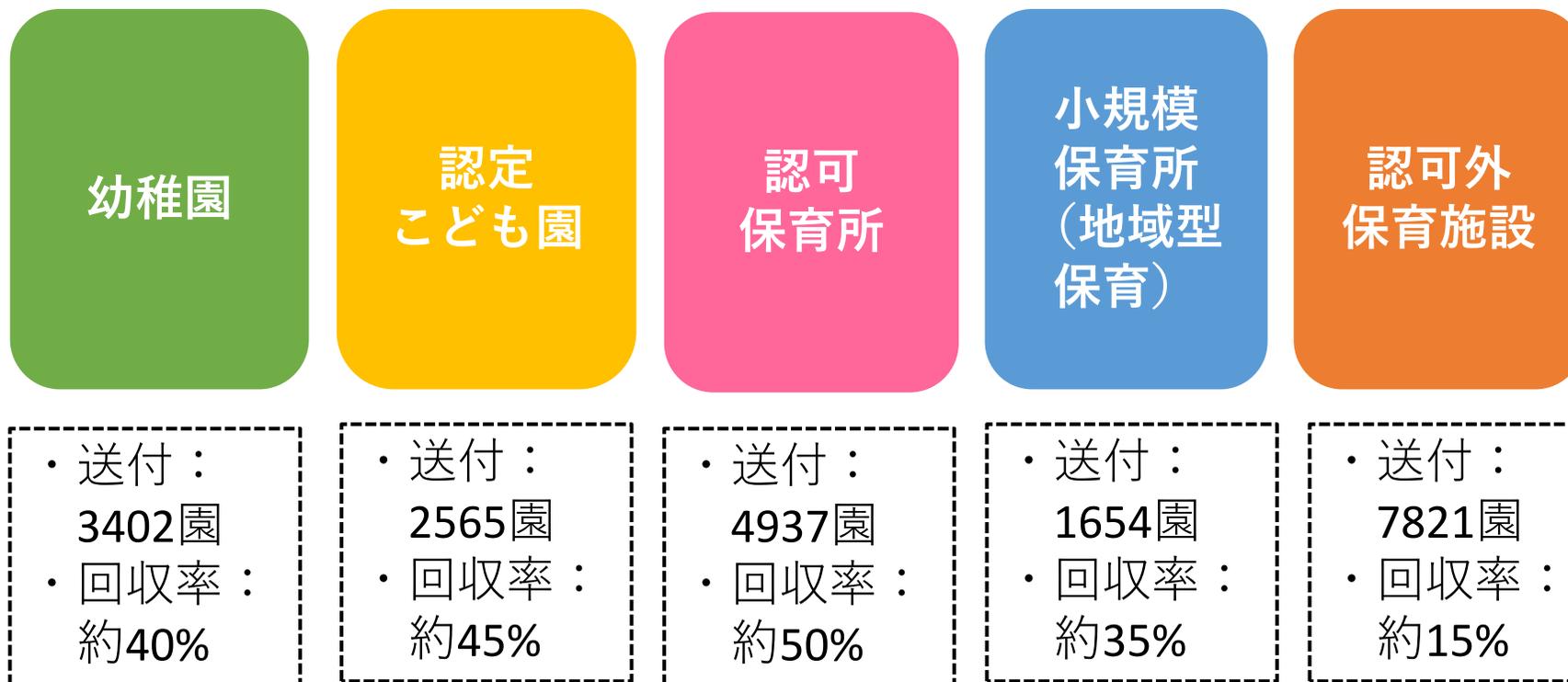
## 職員の資格・教育・コンピテンス

課題：職員のコミュニケーション能力の強化  
リーダーシップ能力の強化

# 調査の内容・方法

## □ 各保育・幼児教育施設の協力者と配布数・回収率

- 各施設の園長、主任、担任（1・3・5歳児担任）に回答を求めた



7100超施設、**30,700名**が回答

## ※認可外保育施設（3種類）

種類	回収数 (比率;%)
<b>地方単独保育事業</b> 地方自治体における単独保育施策において児童を保育している施設 (例：認証保育所、○○保育室)	493 (40.7)
(都道府県知事等による) 指導監督基準を満たす旨の証明書を交付されている	589 (48.6)
(都道府県知事等による) 指導監督基準を満たす旨の証明書を交付されていない	129 (10.7)
合計	1211 (100)

# 設問項目

園長先生	主任の先生	担任の先生 (1・3・5歳児)
<ul style="list-style-type: none"> <li>園環境の評価</li> <li>安全管理体制</li> <li>園の課題</li> <li>特別な支援を必要とする子どもへの支援</li> <li>保育者・子ども の人数、クラス 数、資格</li> <li>園内研修、園外 研修、公開保育、 自己評価</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>保育者・保護者 とのコミュニ ケーション</li> <li>保育・教育課程</li> <li>音や映像の使用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>保育環境構成</li> <li>子どもとのかか わり</li> <li>保育計画・実践</li> </ul>
	リーダーシップ	
負担感・体調・満足感	自園の保育の質の評価	

# 質問紙の特徴

- 無記名式
- 個別に厳封の上、園単位で返送
- 5件法（「まったくそう思わない」～「とてもそう思う」）

		まったく そう思わない	あまり そう思わない	どちらとも いえない	やや そう思う	とても そう思う
a	クラスは落ち着いてくつろいだ雰囲気である	1	2	3	4	5
b	保育士の子どもたちへの接し方は温かいものである	1	2	3	4	5

# 全国の保育・幼児教育施設への送付

子ども・子育て支援新制度施行により、**基礎自治体（市町村）が新制度の実施主体**。地域の実情に応じた施策の実施。

…人口減少地域と大都市部、共働き世帯比率の違い等



**地域により異なる実態・課題**を捉えるため、全国の指定都市・中核市・特別区・その他の市町村に配布。都市区分別、施設形態別の分析も実施。

指定都市	人口50万以上の市のうちから政令で指定
中核市	人口20万以上の市の申出に基づき政令で指定
特別区	東京23区
その他	上記以外の市町村



# 調查結果

労働環境  
(負担感・体調・満足感)  
の分析結果

# 「労働環境」を捉える視点

- **労働環境**は、職務満足感や職務遂行能力、子どもたちとのポジティブなかかわりに影響 (Goelman et al., 2000; Philipsen et al., 1997; Taguma, Litjens & Makowiecki, 2012).
- **職務満足感**と**精神衛生**が関連→精神衛生は、働き手の維持（離職防止）のみならず、ケアの質にも影響 (de Schipper et al., 2008).
- 職務満足感やモチベーションは、子どもとともに働くことへの意欲関心、同僚とのポジティブな関係性、労働環境と関連 (Kilgallon et al., 2008).



園の労働環境の質が、保育者の**負担感、体調、満足感**に反映されていると想定。

# 満足感の分析結果

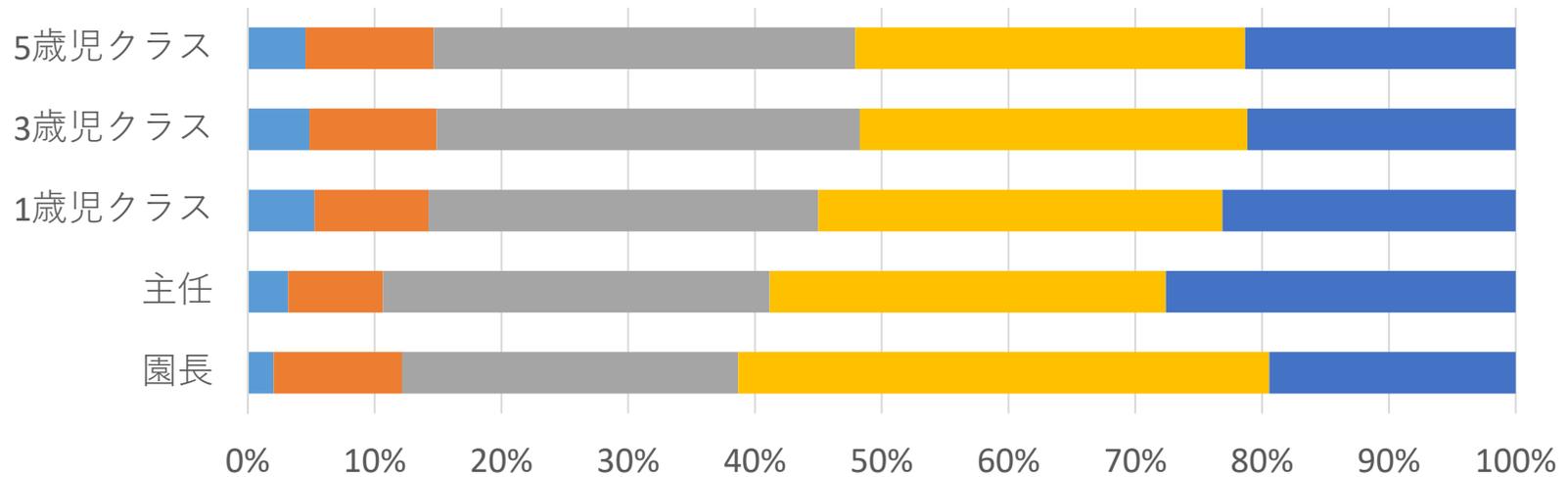
# 保育者の職務満足感 (項目の評定平均値)

5 とてもそう思う  
4 ややそう思う  
3 どちらともいえない  
2 あまりそう思わない  
1 まったくそう思わない

平均値／上段 回答者数／下段	全体的に見て、 自分の職場には 満足している	全体的に見て、 自分の仕事には 満足している	できるだけ長く 今の職場で働い ていたい
園長	3.91	3.67	3.68
	6863	6864	6826
主任	3.84	3.46	3.73
	6608	6605	6594
1歳児クラス担任	3.69	3.57	3.59
	5176	5178	5175
3歳児クラス担任	3.70	3.53	3.53
	5604	5604	5600
5歳児クラス担任	3.73	3.56	3.54
	5620	5619	5608

# 項目

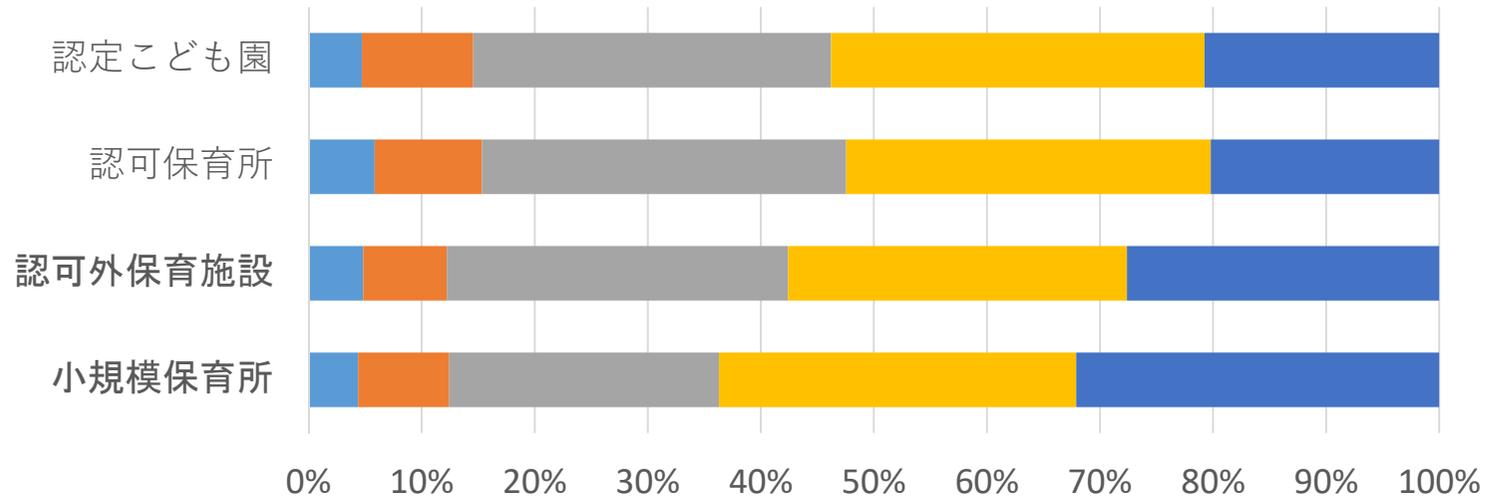
「できるだけ長く今の職場で働いていたい」



	園長	主任	1歳児クラス	3歳児クラス	5歳児クラス
■ まったくそう思わない	2%	3%	5%	5%	5%
■ あまりそう思わない	10%	7%	9%	10%	10%
■ どちらともいえない	27%	30%	31%	33%	33%
■ ややそう思う	42%	31%	32%	31%	31%
■ とてもそう思う	19%	28%	23%	21%	21%

	園長	主任	1歳児クラス担任	3歳児クラス担任	5歳児クラス担任
人数	6826	6594	5175	5600	5608

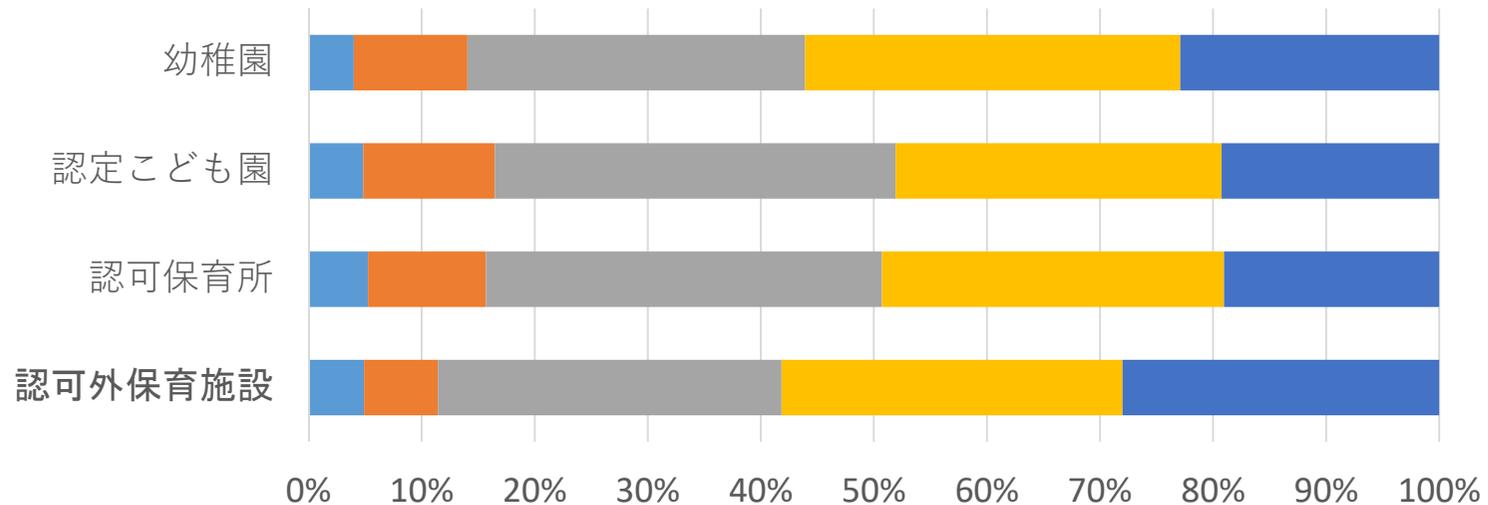
# 「できるだけ長く今の職場で働いていたい」 (1歳児クラス)



	小規模保育所	認可外保育施設	認可保育所	認定こども園
■ まったくそう思わない	4.4%	4.8%	5.8%	4.7%
■ あまりそう思わない	8.1%	7.4%	9.5%	9.8%
■ どちらともいえない	23.9%	30.2%	32.2%	31.7%
■ ややそう思う	31.6%	30.0%	32.2%	33.0%
■ とてもそう思う	32.1%	27.6%	20.2%	20.7%

	小規模保育所	認可外保育施設	認可保育所	認定こども園	幼稚園
人数	596	1277	2500	1057	1396

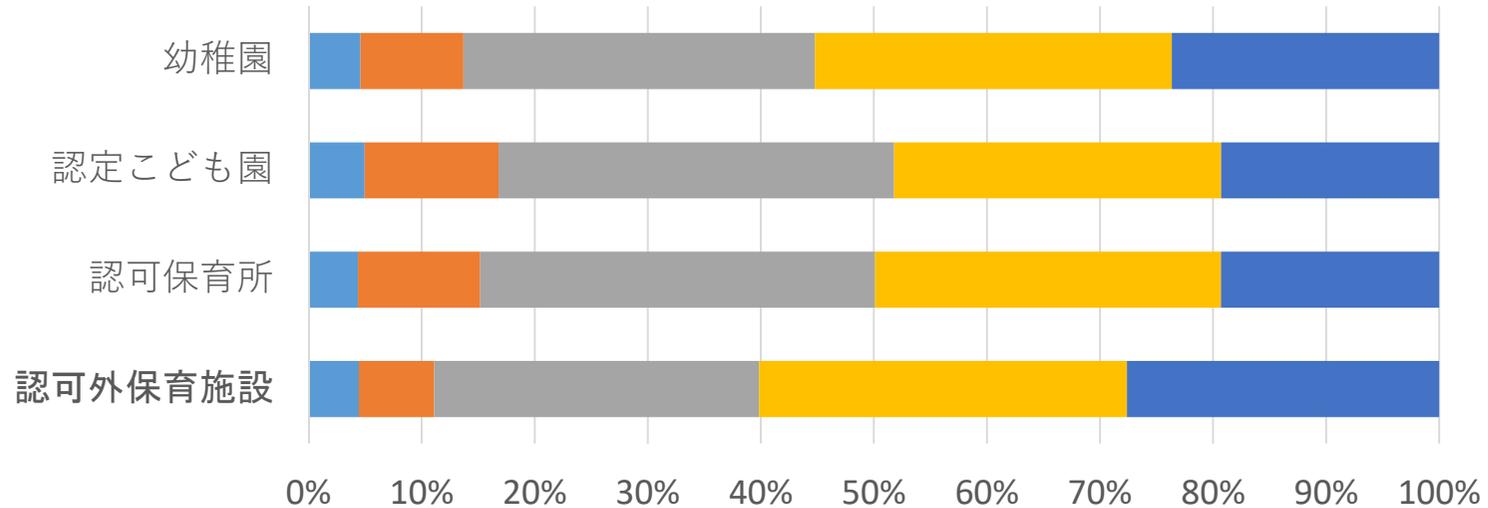
# 「できるだけ長く今の職場で働いていたい」 (3歳児クラス)



	認可外保育施設	認可保育所	認定こども園	幼稚園
■ まったくそう思わない	4.9%	5.3%	4.8%	4.0%
■ あまりそう思わない	6.5%	10.4%	11.6%	10.0%
■ どちらともいえない	30.4%	35.0%	35.5%	29.9%
■ ややそう思う	30.2%	30.3%	28.8%	33.2%
■ とてもそう思う	28.0%	19.0%	19.2%	22.9%

	認可外保育施設	認可保育所	認定こども園	幼稚園
人数	796	2512	1117	1175

# 「できるだけ長く今の職場で働いていたい」 (5歳児クラス)



	認可外保育施設	認可保育所	認定こども園	幼稚園
■ まったくそう思わない	4.4%	4.4%	5.0%	4.6%
■ あまりそう思わない	6.7%	10.8%	11.8%	9.1%
■ どちらともいえない	28.7%	34.9%	35.0%	31.1%
■ ややそう思う	32.5%	30.6%	28.9%	31.6%
■ とてもそう思う	27.6%	19.3%	19.3%	23.6%

	認可外保育施設	認可保育所	認定こども園	幼稚園
人数	630	2451	1089	1438

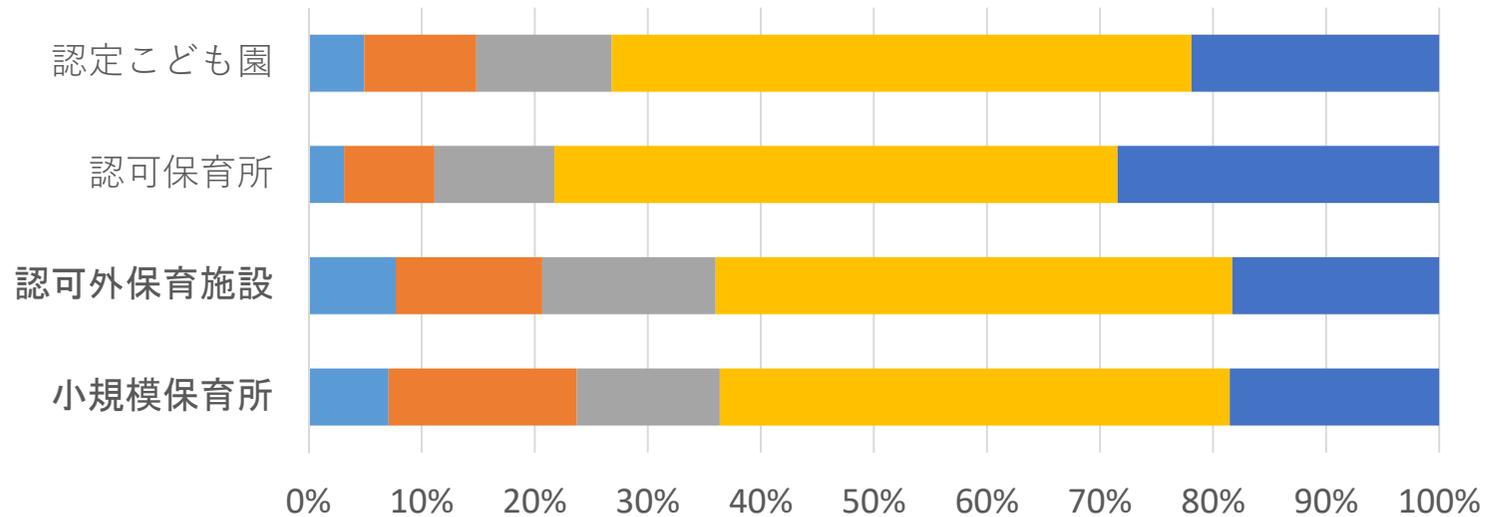
# 体調不良の分析結果

# 保育者の体調不良 (項目の評定平均値)

5 とてもそう思う  
4 ややそう思う  
3 どちらともいえない  
2 あまりそう思わない  
1 まったくそう思わない

平均値／上段 回答者数／下段	眠気を感じる	おなかが痛い	頭が痛い	疲れを感じる
園長	3.09	1.91	2.44	3.60
	6839	6815	6819	6856
主任	3.25	1.98	2.72	3.84
	6636	6634	6638	6643
1歳児クラス 担任	3.28	2.07	2.67	3.77
	5173	5165	5163	5171
3歳児クラス 担任	3.48	2.14	2.74	3.91
	5600	5589	5594	5602
5歳児クラス 担任	3.53	2.16	2.79	4.00
	5615	5611	5608	5612

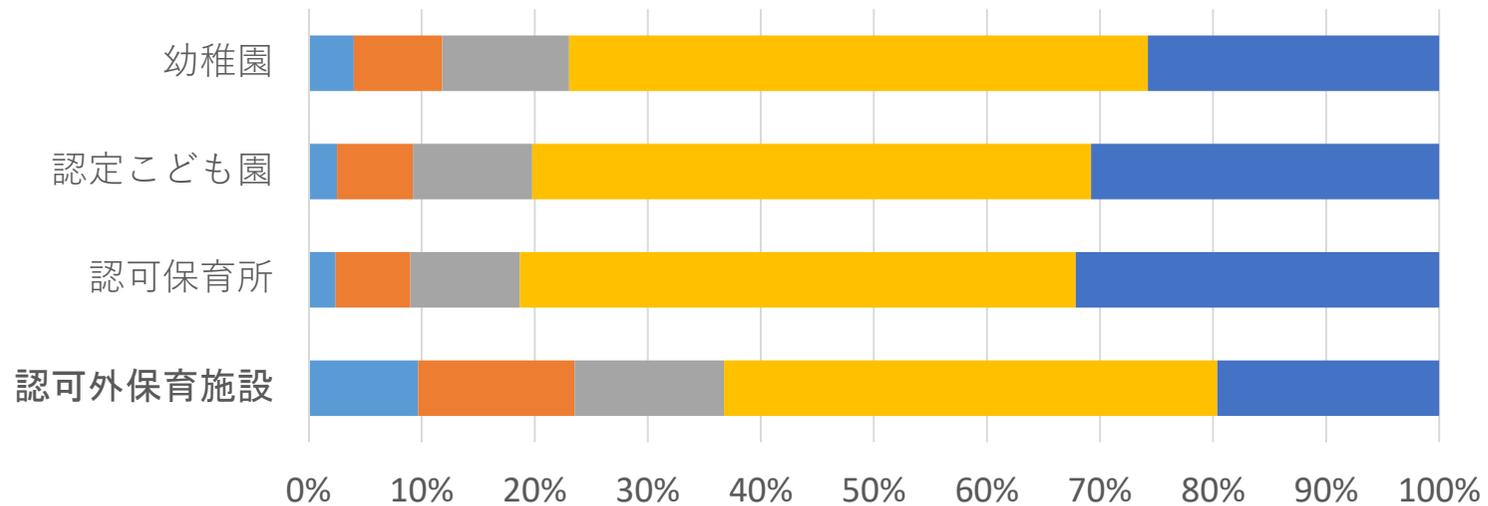
# 「疲れを感じる」 (1歳児クラス)



	小規模保育所	認可外保育施設	認可保育所	認定こども園
■ まったくそう思わない	7.1%	7.7%	3.1%	4.9%
■ あまりそう思わない	16.7%	13.0%	8.0%	9.9%
■ どちらともいえない	12.6%	15.3%	10.6%	12.0%
■ ややそう思う	45.1%	45.7%	49.8%	51.3%
■ とてもそう思う	18.5%	18.3%	28.5%	21.9%

	小規模保育所	認可外保育施設	認可保育所	認定こども園
人数	594	1011	2548	1018

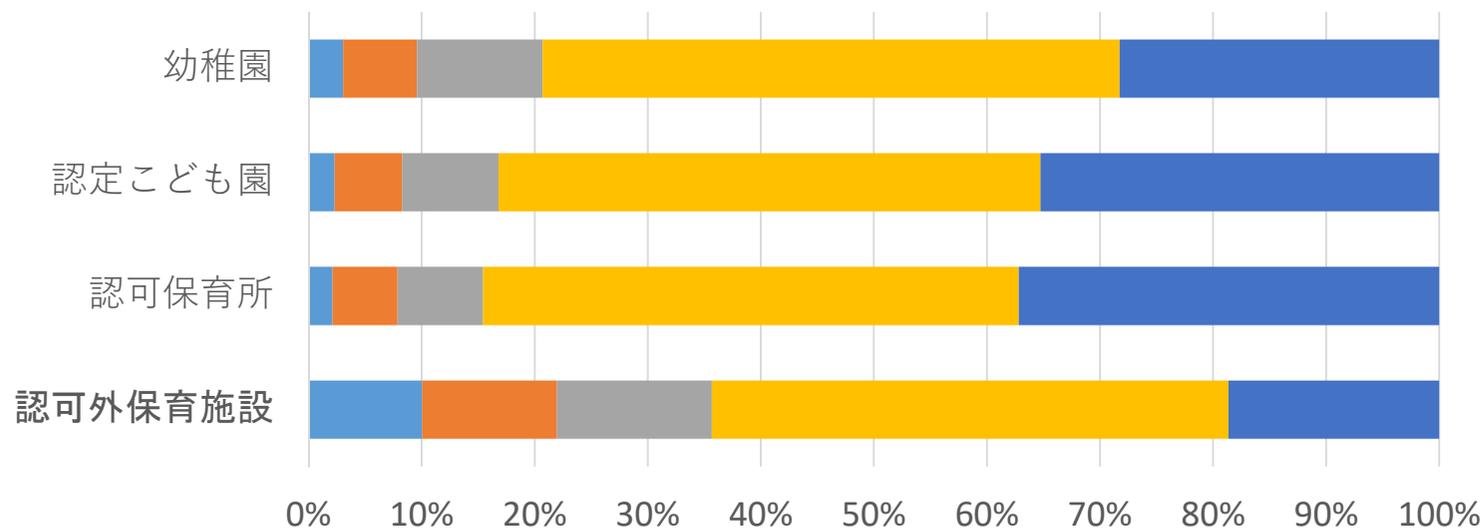
# 「疲れを感じる」 (3歳児クラス)



	認可外保育施設	認可保育所	認定こども園	幼稚園
■ まったくそう思わない	9.7%	2.4%	2.5%	4.0%
■ あまりそう思わない	13.8%	6.6%	6.7%	7.8%
■ どちらともいえない	13.2%	9.7%	10.6%	11.2%
■ ややそう思う	43.6%	49.2%	49.4%	51.2%
■ とてもそう思う	19.6%	32.1%	30.8%	25.8%

	認可外保育施設	認可保育所	認定こども園	幼稚園
人数	795	2514	1117	1176

# 「疲れを感じる」 (5歳児クラス)



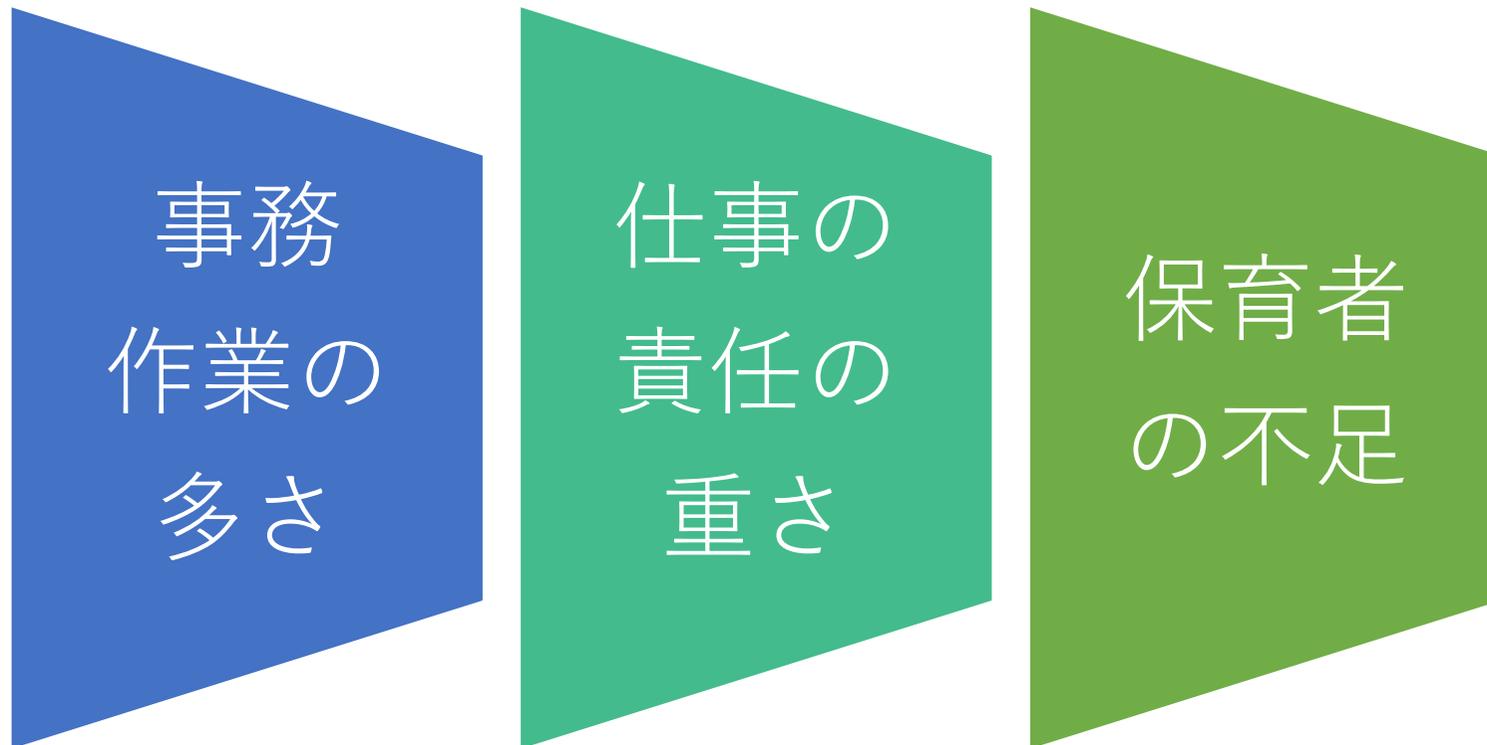
	認可外保育施設	認可保育所	認定こども園	幼稚園
■ まったくそう思わない	10.0%	2.1%	2.3%	3.1%
■ あまりそう思わない	11.9%	5.7%	6.0%	6.5%
■ どちらともいえない	13.7%	7.6%	8.5%	11.1%
■ ややそう思う	45.7%	47.4%	47.9%	51.0%
■ とてもそう思う	18.6%	37.2%	35.3%	28.3%

	認可外保育施設	認可保育所	認定こども園	幼稚園
人数	628	2455	1089	1440

# 負担感の分析結果

# 担任保育者の職務負担感

- ワースト 3 に共通して入った項目  
(いずれも 5 段階中3.5点以上、園長・主任・担任全て)



担任保育者には給与の低さも負担として認識されていたが、事務作業の負担・人手不足の方がより大きな負担となっていた。 27

5 とても負担を感じている、4 やや負担を感じている  
 3 どちらともいえない、2 あまり負担を感じていない  
 1 まったく負担を感じていない

## ● 園長先生の負担感

	度数	平均値	標準偏差
5位 労働時間の長さ	6838	3.28	1.262
4位 日常的な休暇を取りにくいこと	6832	3.34	1.263
<b>3位 研修時間を十分に確保できないこと</b>	6834	3.34	1.089
<b>2位 保育者の不足</b>	6814	3.68	1.213
<b>1位 事務的作業の多さ</b>	6844	3.75	1.166

## ● 主任の先生の負担感

	度数	平均値	標準偏差
5位 日常的な休暇を取りにくいこと	6584	3.21	1.26
4位 労働時間の長さ	6591	3.3	1.229
<b>3位 保育者の不足</b>	6575	3.57	1.221
<b>2位 事務的作業の多さ</b>	6584	3.58	1.176
<b>1位 仕事の責任の重さ</b>	6057	3.81	1.055

• 1歳児クラス担任の先生の負担感

		度数	平均値	標準偏差
5位	休憩時間を十分に取れないこと	5165	3.09	1.256
4位	給与が十分でないこと	5160	3.35	1.239
<b>3位</b>	<b>事務的作業の多さ</b>	5159	3.51	1.208
<b>2位</b>	<b>仕事の責任の重さ</b>	5161	3.52	1.098
<b>1位</b>	<b>保育者の不足</b>	5155	3.58	1.22

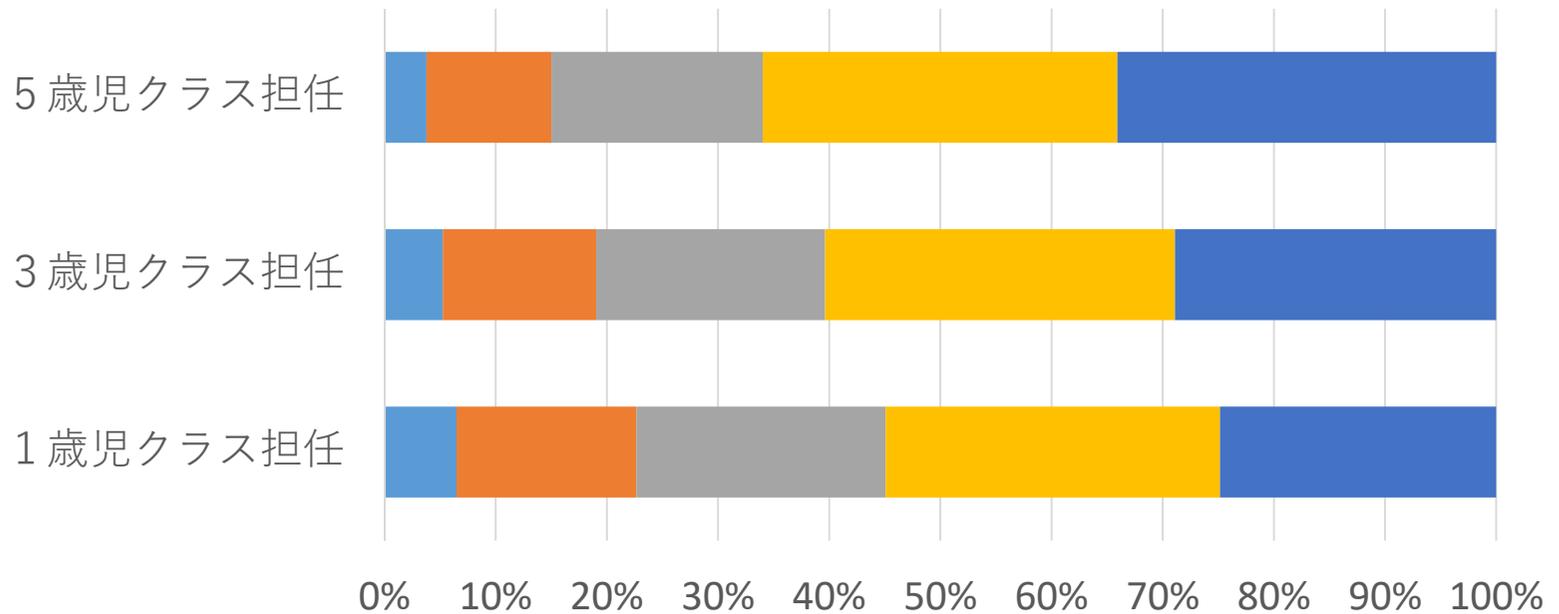
• 3歳児クラス担任の先生の負担感

		度数	平均値	標準偏差
5位	労働時間の長さ	5592	3.31	1.208
4位	給与が十分でないこと	5579	3.45	1.236
<b>3位</b>	<b>保育者の不足</b>	5585	3.55	1.208
<b>2位</b>	<b>仕事の責任の重さ</b>	5591	3.57	1.075
<b>1位</b>	<b>事務的作業の多さ</b>	5592	3.65	1.182

• 5歳児クラス担任の先生の負担感

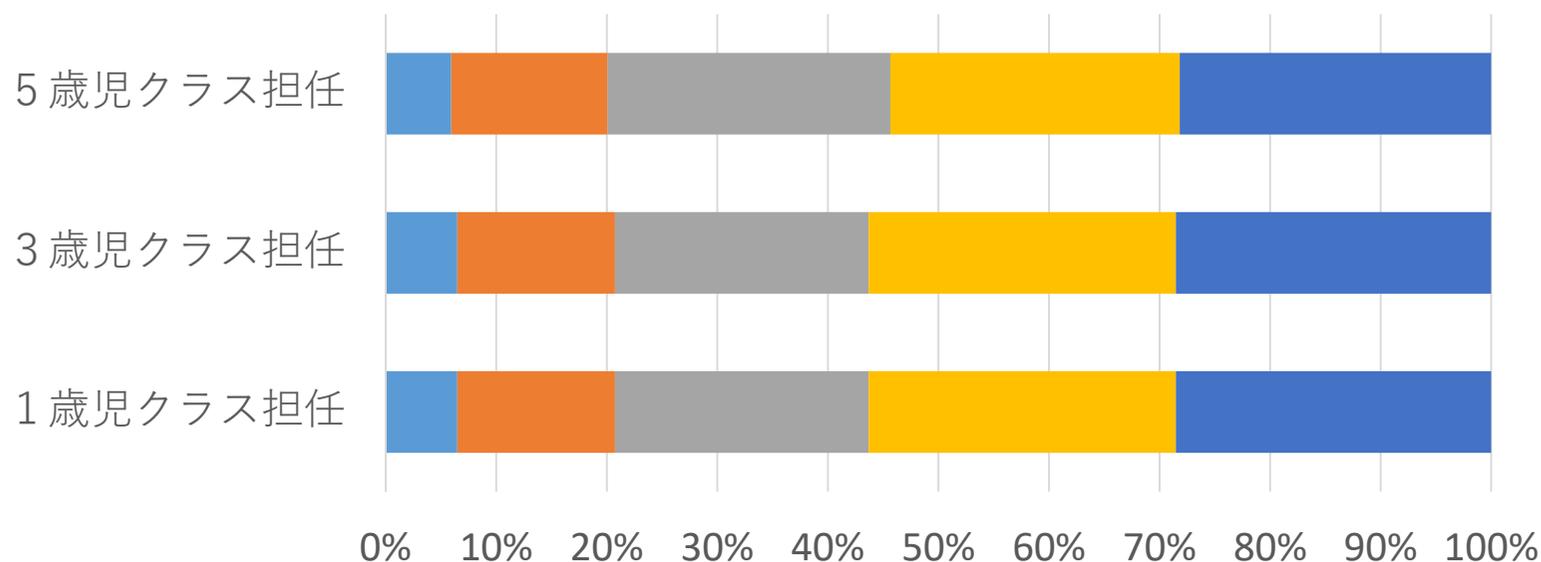
		度数	平均値	標準偏差
5位	給与が十分でないこと	5620	3.44	1.221
4位	労働時間の長さ	5637	3.46	1.198
<b>3位</b>	<b>保育者の不足</b>	5624	3.57	1.203
<b>2位</b>	<b>仕事の責任の重さ</b>	5634	3.65	1.082
<b>1位</b>	<b>事務的作業の多さ</b>	5623	3.81	1.134

# 事務的作業の多さ



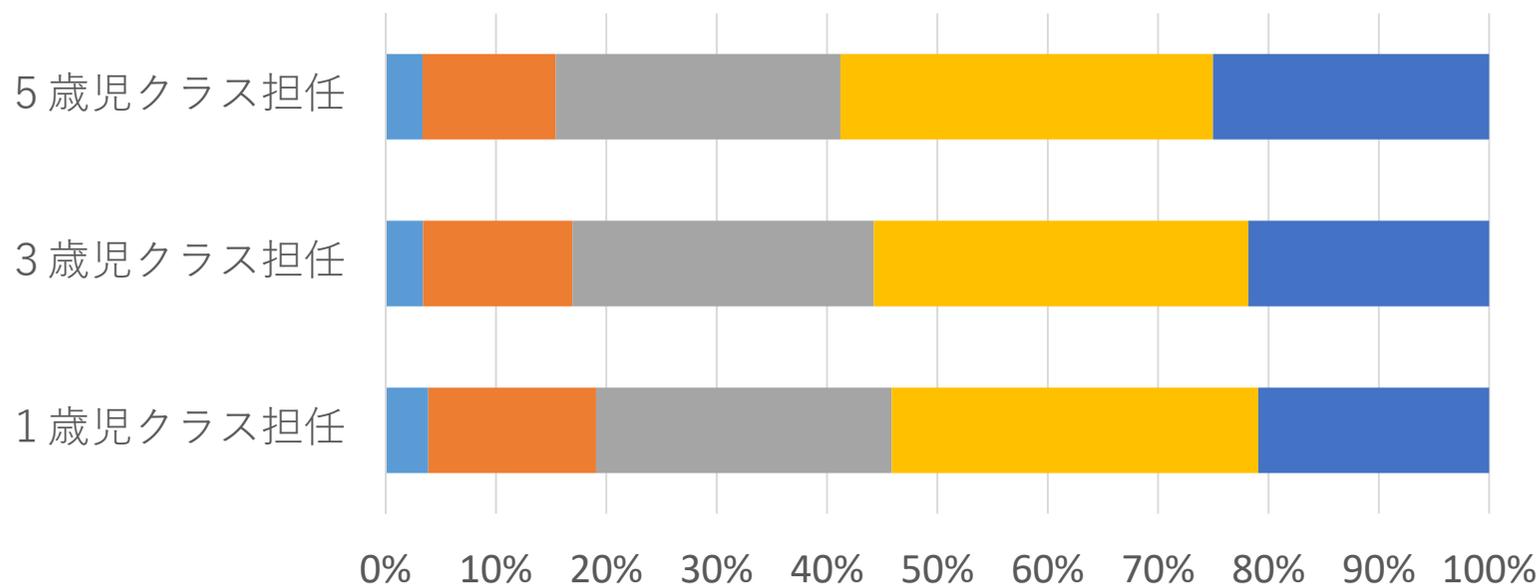
	1 歳児クラス担任	3 歳児クラス担任	5 歳児クラス担任
■ まったく負担を感じていない	6.5	5.2	3.8
■ あまり負担を感じていない	16.2	13.8	11.2
■ どちらともいえない	22.4	20.6	19.0
■ やや負担を感じている	30.1	31.5	31.9
■ とても負担を感じている	24.8	28.9	34.1

# 保育者の不足



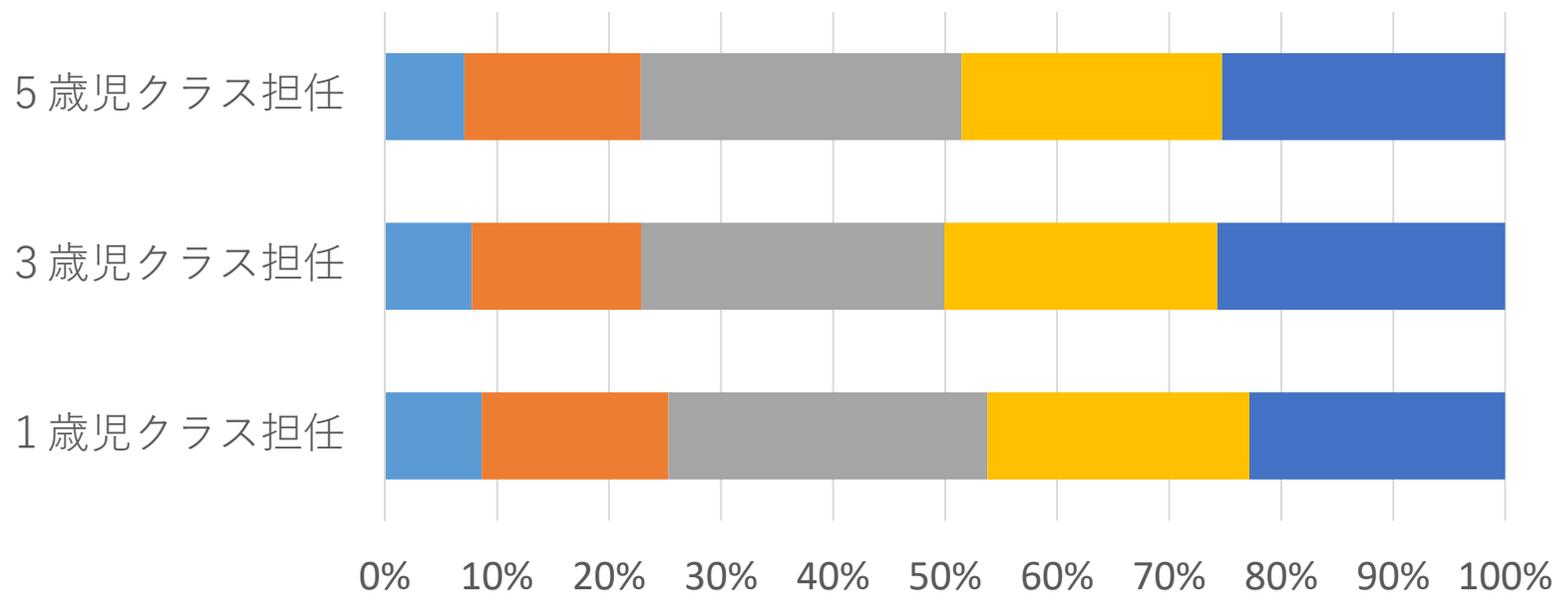
	1歳児クラス担任	3歳児クラス担任	5歳児クラス担任
■ まったく負担を感じていない	4.0%	6.5%	5.9%
■ あまり負担を感じていない	8.9%	14.3%	14.2%
■ どちらともいえない	14.3%	22.9%	25.6%
■ やや負担を感じている	17.4%	27.8%	26.2%
■ とても負担を感じている	17.8%	28.5%	28.2%

# 仕事の責任の重さ



	1歳児クラス担任	3歳児クラス担任	5歳児クラス担任
■ まったく負担を感じていない	3.9%	3.4%	3.4%
■ あまり負担を感じていない	15.2%	13.5%	12.1%
■ どちらともいえない	26.8%	27.3%	25.8%
■ やや負担を感じている	33.2%	33.9%	33.8%
■ とても負担を感じている	20.9%	21.8%	25.0%

# 給与の不足



	1歳児クラス担任	3歳児クラス担任	5歳児クラス担任
■ まったく負担を感じていない	8.6%	7.7%	7.1%
■ あまり負担を感じていない	16.7%	15.1%	15.7%
■ どちらともいえない	28.5%	27.1%	28.6%
■ やや負担を感じている	23.4%	24.4%	23.3%
■ とても負担を感じている	22.8%	25.7%	25.3%

# 待遇に関する負担は相互に関連 (項目間の相関行列)

**\*\*  $P < .01$**

平均値／上段 回答者数／下段	事務的作業の多さ	保育者の不足	労働時間の長さ
給与が十分でないこと (1歳児クラス)	<b>.533**</b>	<b>.422**</b>	<b>.455**</b>
	5146	5140	5148
給与が十分でないこと (3歳児クラス)	<b>.528**</b>	<b>.418**</b>	<b>.449**</b>
	5574	5568	5571
給与が十分でないこと (5歳児クラス)	<b>.482**</b>	<b>.400**</b>	<b>.446**</b>
	5607	5607	5615

# 負担感と満足感・体調不良との関係

# 保育者の負担感の構造

## 労働環境・待遇にまつわる負担 [高い得点]

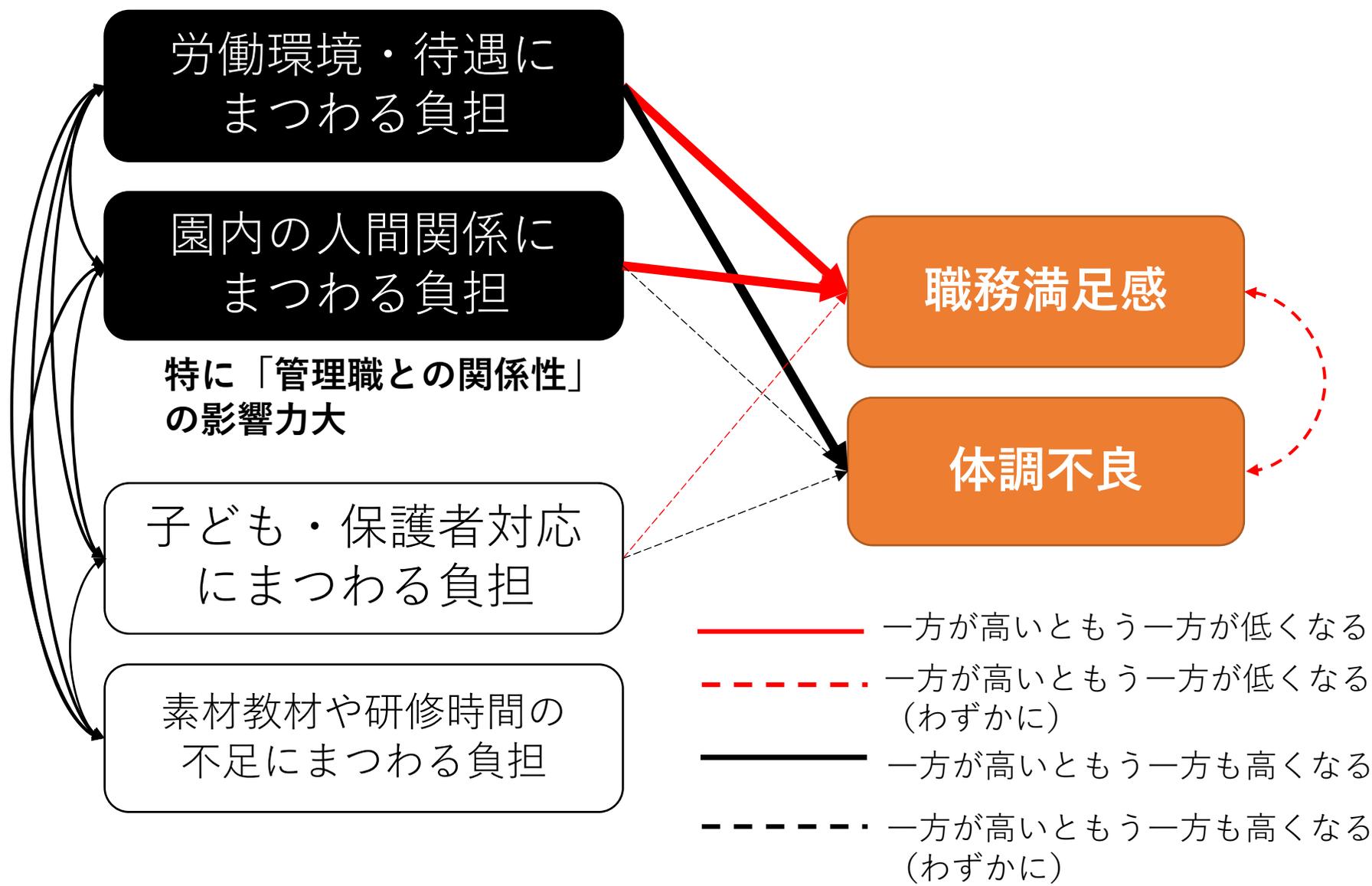
労働時間の長さ、休憩時間を取れない、休暇を取りにくい、給与が十分でない、事務的作業の多さ、保育者不足

## 園内の人間関係にまつわる負担

## 子ども・保護者対応にまつわる負担

## 素材教材や研修時間の不足にまつわる負担

# 職務満足感の低さにつながる負担感



# まとめ

- 担任保育者（1・3・5歳児クラス担任）が最も負担感を強く認識していたのが「**事務作業負担**」「**仕事の責任の重さ**」「**保育者の不足**」「**給与の不足**」であった
- 保育者は「**労働環境・待遇にまつわる負担**」を他の3種類の負担感に比べて強く感じていた。
- 担任保育者全て（1・3・5歳児クラス）で、「労働環境・待遇にまつわる負担」は職務満足感の低さ、および体調不良と関係。  
「園内の人間関係にまつわる負担（とりわけ管理職との関係性）」は、職務満足感の低さと関係。

## 「負担感」「体調」「満足感」の実態からの示唆

離職防止・保育者の体調やメンタルヘルスの維持・向上のためには、園長や主任等の管理職が、労働環境の管理・改善や職員同士の関係性のマネジメントに意識的に取り組んでいく必要がある。

プロセスの質  
(保育環境構成、かかわり)  
の分析結果

## プロセスの質への着目

「**プロセスの質**」とは、「子どもたちが保育の中で実際に経験すること－保育施設の中で起こること、例えば**保育者と子どもたちとのやりとり**。保護者との関係性や**使用可能な素材・教材**、スタッフの専門的スキルも含む」(OECD., 2016).

# 「環境構成」を捉える視点

「幼児期における教育は、（中略）幼児期の特性を踏まえ、**環境を通して行うもの**であることを基本とする。」

（「幼稚園教育要領」幼稚園教育の基本）

「保育の環境には、**保育士等や子どもなどの人的環境、施設や遊具などの物的環境、更には自然や社会の事象**などがあります。保育所は、こうした人、物、場などの環境が相互に関連し合い、子どもの生活が豊かなものとなるよう、次の事項に留意しつつ、計画的に**環境を構成**し、工夫して保育しなければならない」

（「保育所保育指針」3保育の原理（三）保育の環境）

- 空間、素材・道具、時間、人的環境が、子どもの自立性・有能感・関係性といった根源的欲求を支えている(高山, 2016: 日本学術会議主催フォーラム資料).
- 保育環境構成の充実が、子どもの認知的・非認知的発達とポジティブに関連(EPPE調査・EPPSE調査).

# 「かかわり」を捉える視点

保育者の「よい保育」イメージの基軸としての  
「保育者－子ども関係」 (金田・諏訪・土方, 2000)

〈保育者の基本姿勢〉

子ども中心の保育

子どもを受容する保育

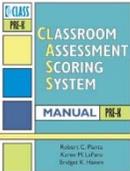
子どもに共感する保育

子どもが意欲的になる保育

質の高い（子どもの認知的・非認知的発達をより促す）園では

- 保育者の子どもへのかかわりが温かく、応答的
- 「ともに考え深めつづけること」と呼ばれるかかわりを含む質の良いかかわりが見られた (Siraj-Blatchford et al., 2002).

# 「保育環境」「かかわり」の項目作成にあたり 参照した尺度

尺度	保育環境構成	かかわり
<p><b>ECERS-R</b>「保育環境評価スケール」</p> 	<p>室内空間、日常のケアと遊びのための家具、安心して落ち着ける空間、室内構成、子どもに関する展示、微細運動、粗大運動、造形他</p>	<p>遊びと学びの見守り、仲間どうしのやりとり、保育者と子どものやりとり、望ましい態度・習慣の育成、自由遊び、集団活動他</p>
<p><b>SSTEW</b>「保育プロセスの質評価スケール」</p> 		<p>子どもの選択と自立した遊びの支援、社会情緒的な安定・安心、子ども同士の会話を支えること、感受性豊かな応答、好奇心と問題解決の支援他</p>
<p><b>CLASS</b> (Classroom Assessment Scoring System)</p> 		<p>ポジティブな雰囲気、保育者の感性、子どもの視点への配慮、行動の指導、概念発達の支援 他</p>
<p><b>日本版sics</b>「子どもの経験から振り返る保育プロセスの質」</p> 	<p>豊かな環境</p>	<p>子どもの主体性（自由と参加）、支援の方法（保育者の感性とふりかえり）、クラスの雰囲気（集団内の心地よさ）</p>

# 保育環境構成の分析結果

# 「環境構成」の構造（観点の大枠）

45

※他とは関連しない独自項目もあった（1・5歳児クラスの屋外環境等）

## 1歳児クラス

発達や経験に応じた遊具等

自発的な遊びのための遊具・空間

静と動の空間確保

生活や文化にかかわる展示

## 3歳児クラス

異なる遊びを保障する空間配置

発達や経験に応じた遊具等

自発的な遊びのための遊具・空間

静と動の空間確保

生活や文化にかかわる展示

## 5歳児クラス

発達や経験に応じた自発的な遊びのための遊具・空間

異なる遊びを保障する空間配置

生活や文化にかかわる展示

静と動の空間確保

# 静と動の空間確保

保育の**量の拡充**  
保育の**質の保障**  
保育の**質の向上**

## 園内環境

くつろげる空間があるか  
室内に体を動かして遊べる空間があるか  
くつろぎの場と活動的な遊びの場の確保

## 園外環境

園庭や近隣の公園など、体を動かして遊べる環境があるか

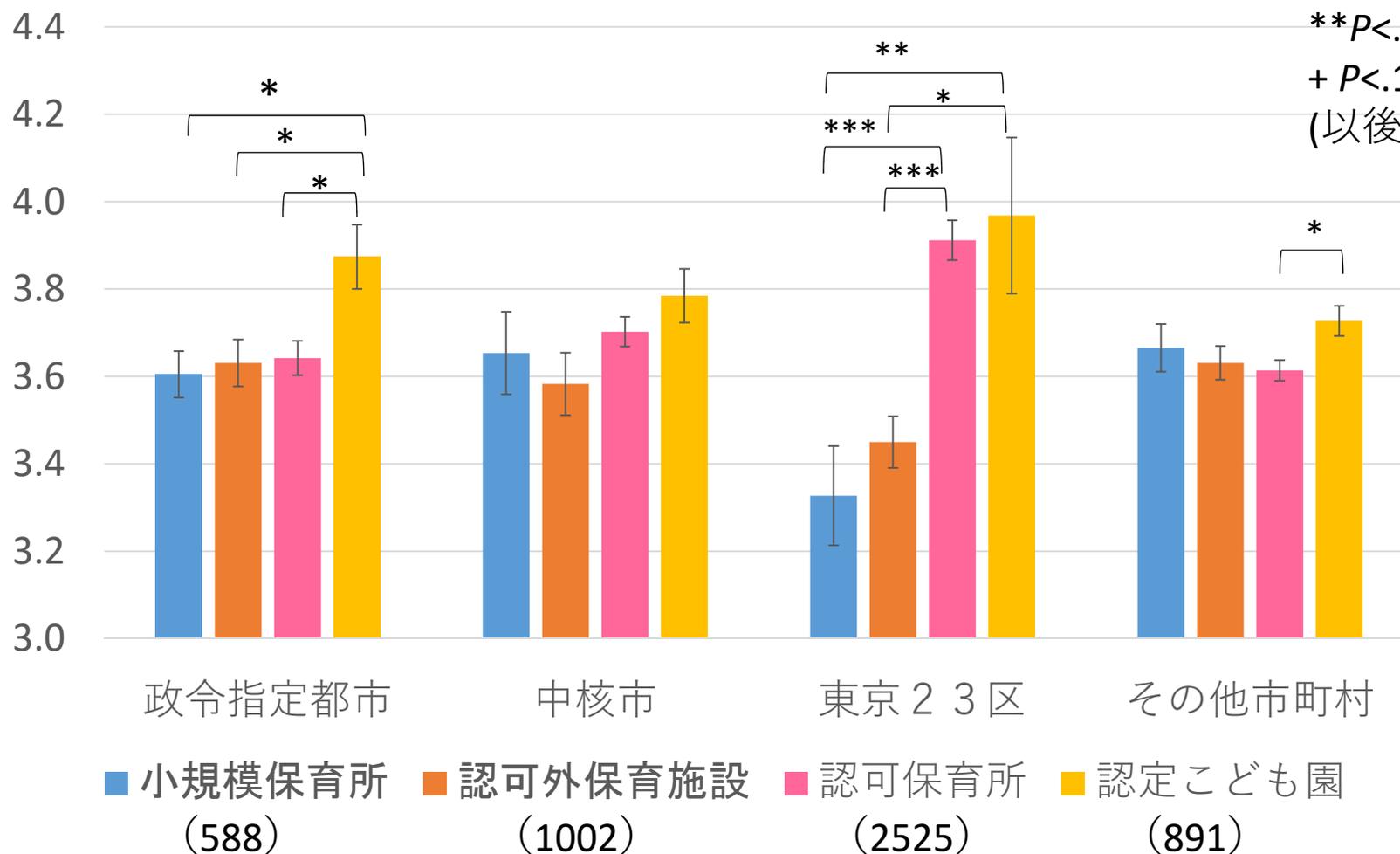
# 園内環境（1歳児クラス）

静と動の  
空間確保

3項目の平均値

- ・室内に、ハイハイしたり歩き回れる空間が確保されている
- ・室内に、くつろぎの場として休んだりできる空間がある
- ・くつろぎの場は活動的な遊びに邪魔されない所にある

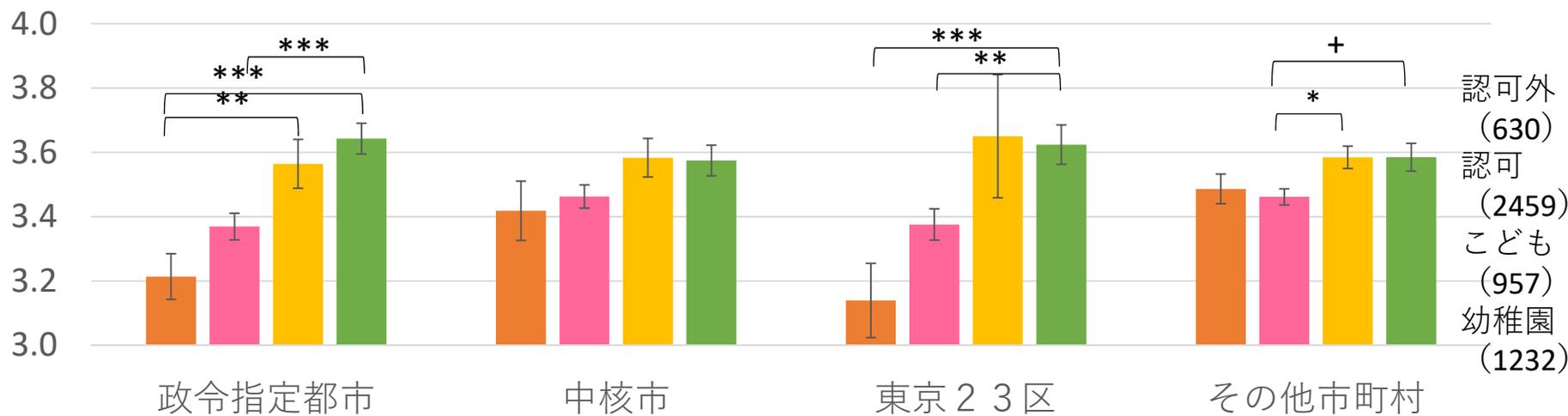
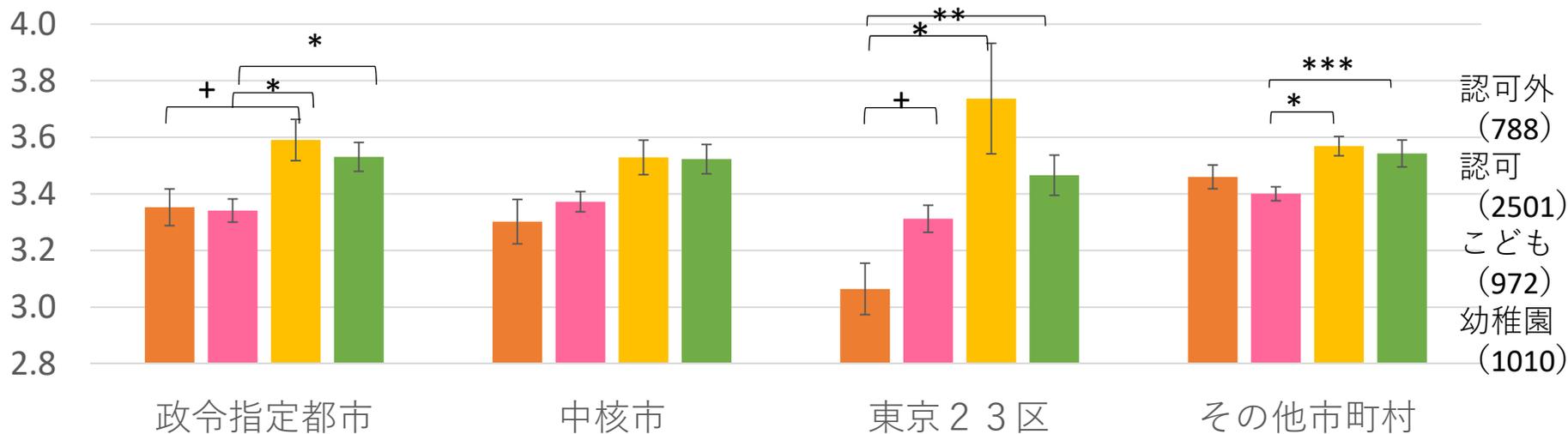
\*\*\*  $P < .001$   
 \*\*  $P < .01$   
 \*\*  $P < .05$   
 +  $P < .10$   
 (以後共通)



# 園内環境（3歳児（上）／5歳児クラス（下））

静と動の  
空間確保

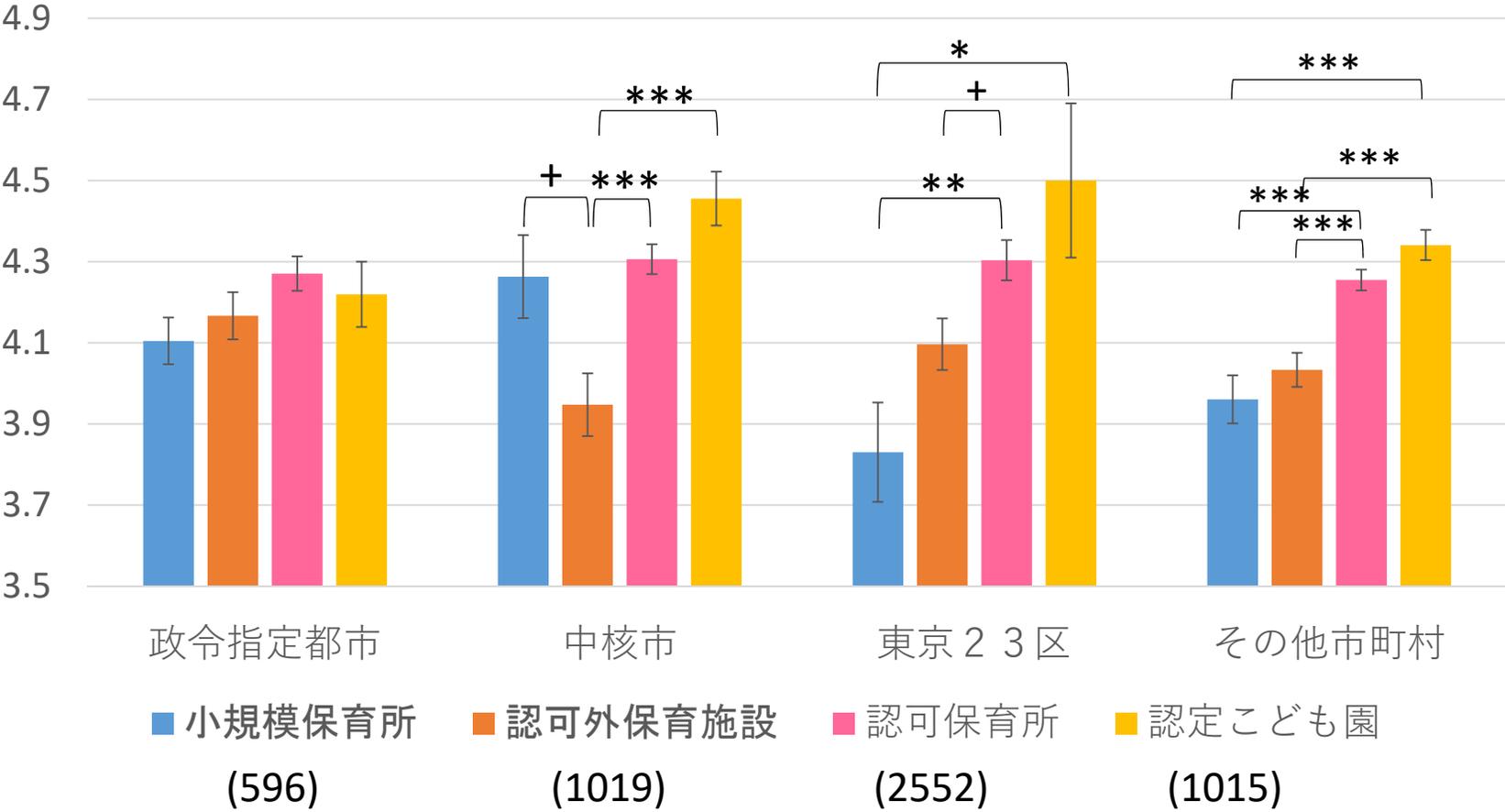
3項目の平均値：  
 ・室内に子どもが体を動かして遊べる空間が確保されている  
 ・室内に、くつろぎの場として休んだりできる空間がある  
 ・くつろぎの場は活動的な遊びに邪魔されない所にある



■ 認可外保育施設 ■ 認可保育所 ■ 認定こども園 ■ 幼稚園

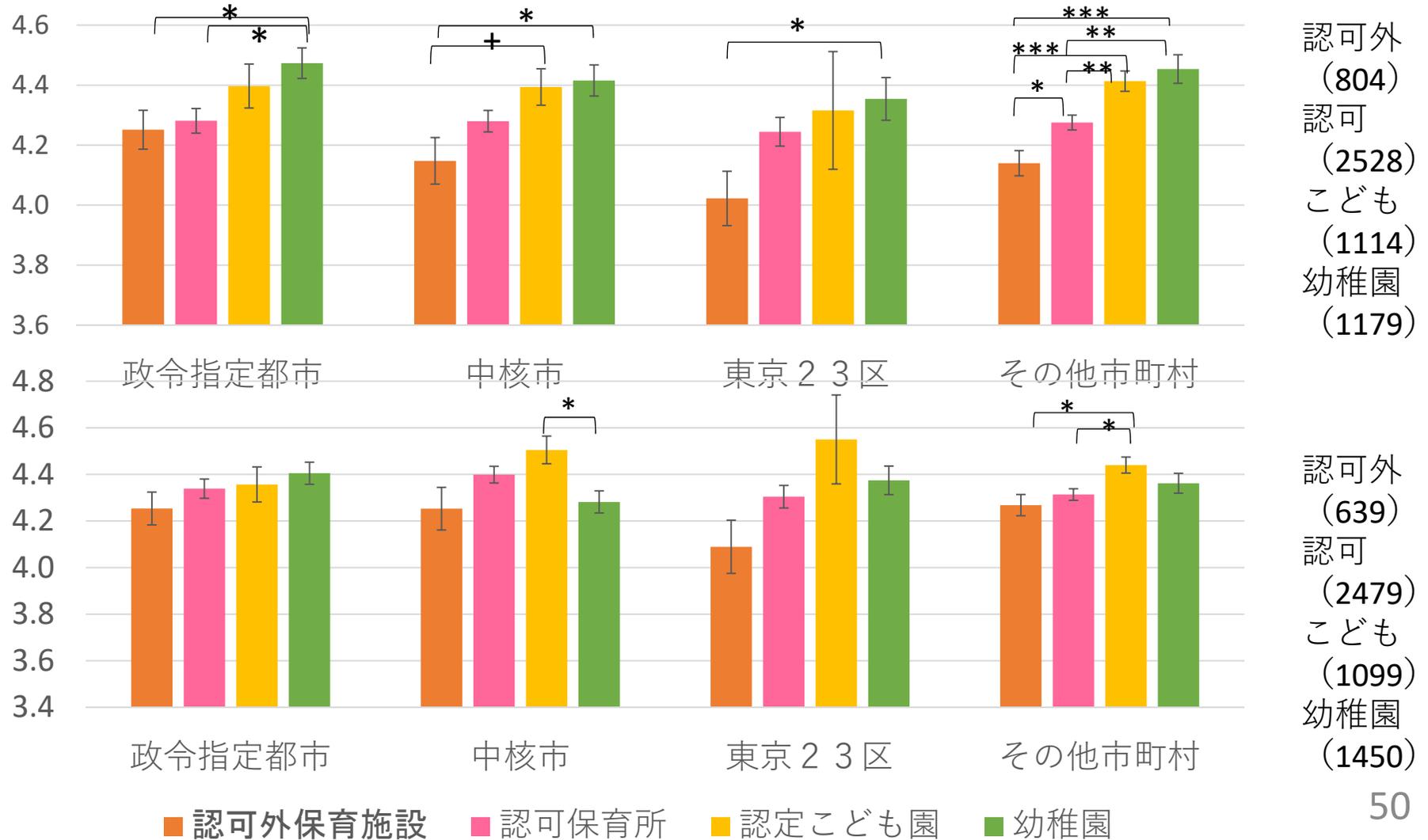
# 園外環境（1歳児クラス）

- 園庭や近隣の公園などの、体を動かす遊びのできる環境が確保されている



# 園外環境（3歳児（上）／5歳児クラス（下）

- 園庭や近隣の公園などの、体を動かす遊びのできる環境が確保されている



## まとめ

- **環境構成の質に関する複数の観点**が明らかになった
- 「**静と動の空間確保**」に関する項目のスコア
  - 園内環境
    - 1歳児クラス…認可保育所・認定こども園の得点が小規模保育所・認可外保育施設より高い傾向
    - 3・5歳児クラス…認定こども園・幼稚園の得点が、認可保育所・認可外保育施設より高い傾向
  - 園外環境
    - 1・3・5歳児クラスで小規模保育所・認可外保育施設よりも認可保育所・認定こども園・幼稚園で高い傾向

→都市区分によって施設間の得点の差のあり方が異なる

### 室内外の「保育環境構成」の実態からの示唆

室内外の動的・静的環境の確保を含めた保育環境の違いが子どもの心身の発達にいかなる影響があるのかを明らかにするための縦断的研究を早急に実施する必要がある。

# かかわりの分析結果

# 「かかわり」の構造

## 1歳児クラス

受容・共感  
・傾聴

自発的な遊び・  
活動の支援

生活・遊びの  
きまりの明示

## 3歳児クラス・5歳児クラス

好奇心・探究心を  
ふまえた遊び  
・活動の支援

受容・共感  
・傾聴

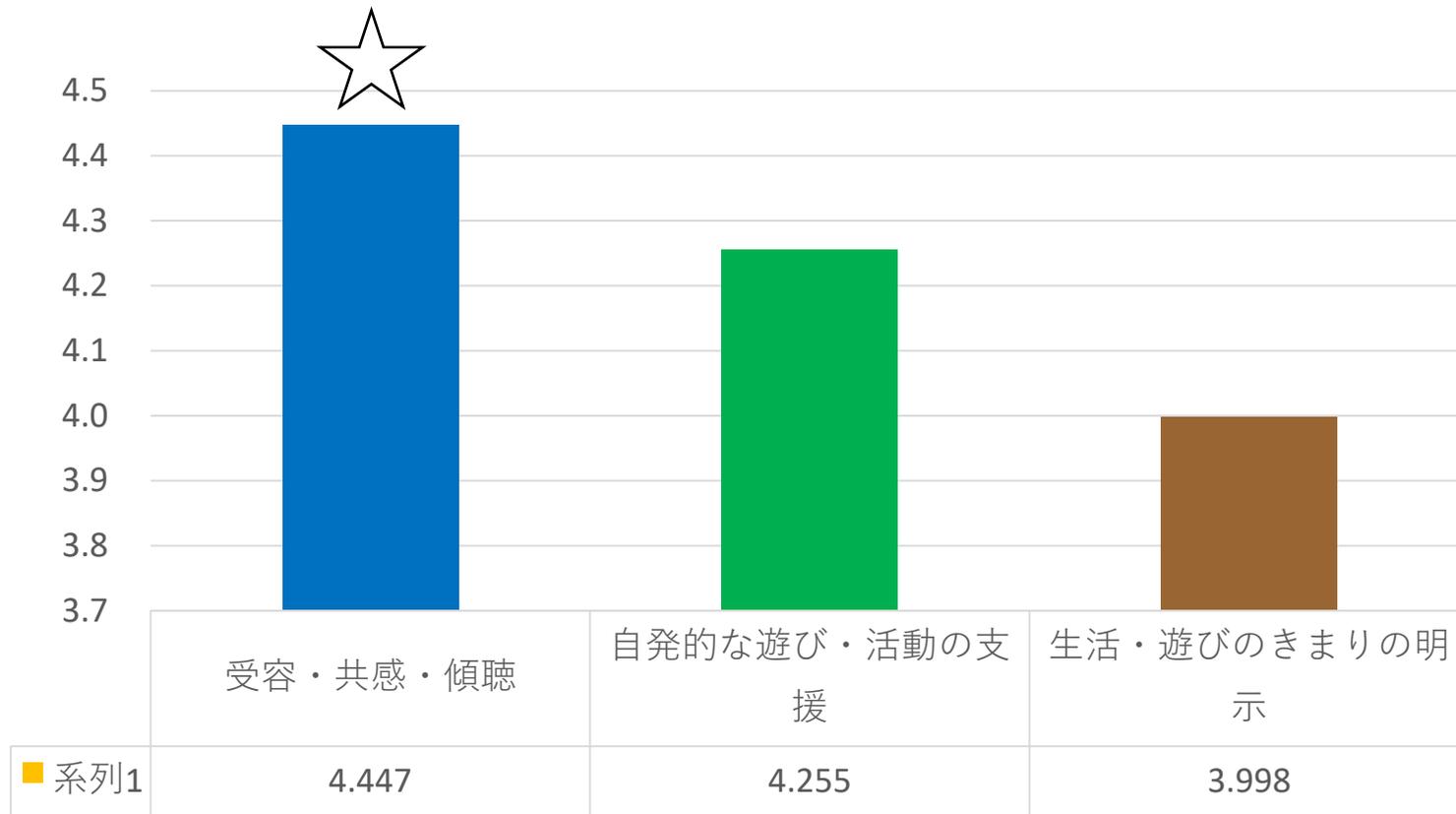
集団での遊び・  
活動の支援

温かく受容的な  
雰囲気

生活・遊びの  
きまりの明示

※いずれかが高いと、もう一方も高いという構造が認められた

# 「かかわり」の特徴（1歳児クラス）



回答者数：5062名

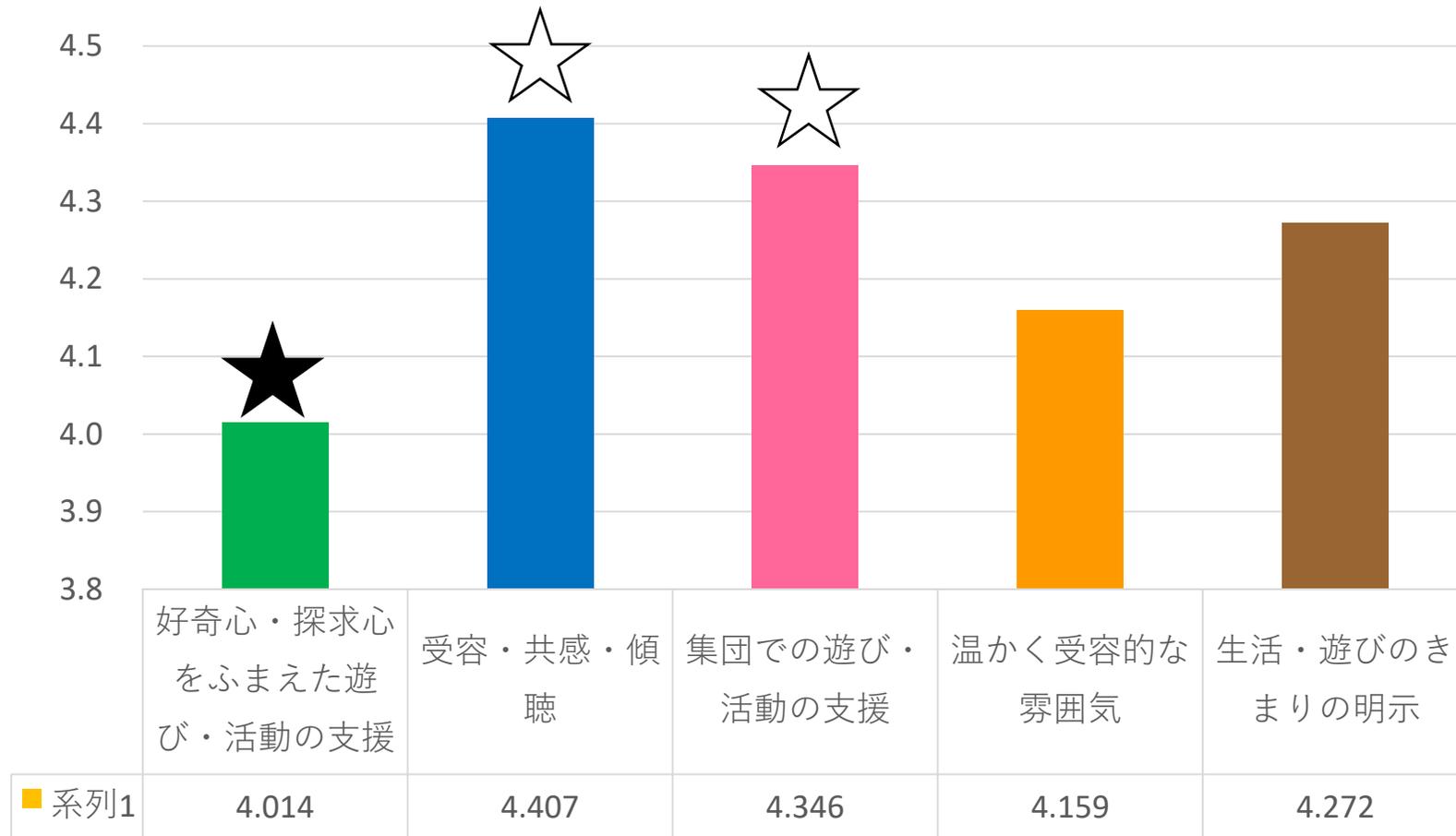
※ 5段階評定（1 - 5）

子どもたちの悲しみや怒り等の感情表現を受け止めている

子どもたちの喜びや感動表現に対して肯定的に対応している

子どもに個別に話しかける際、目線の高さを合わせている 他

# 「かかわり」の特徴（3歳児クラス）



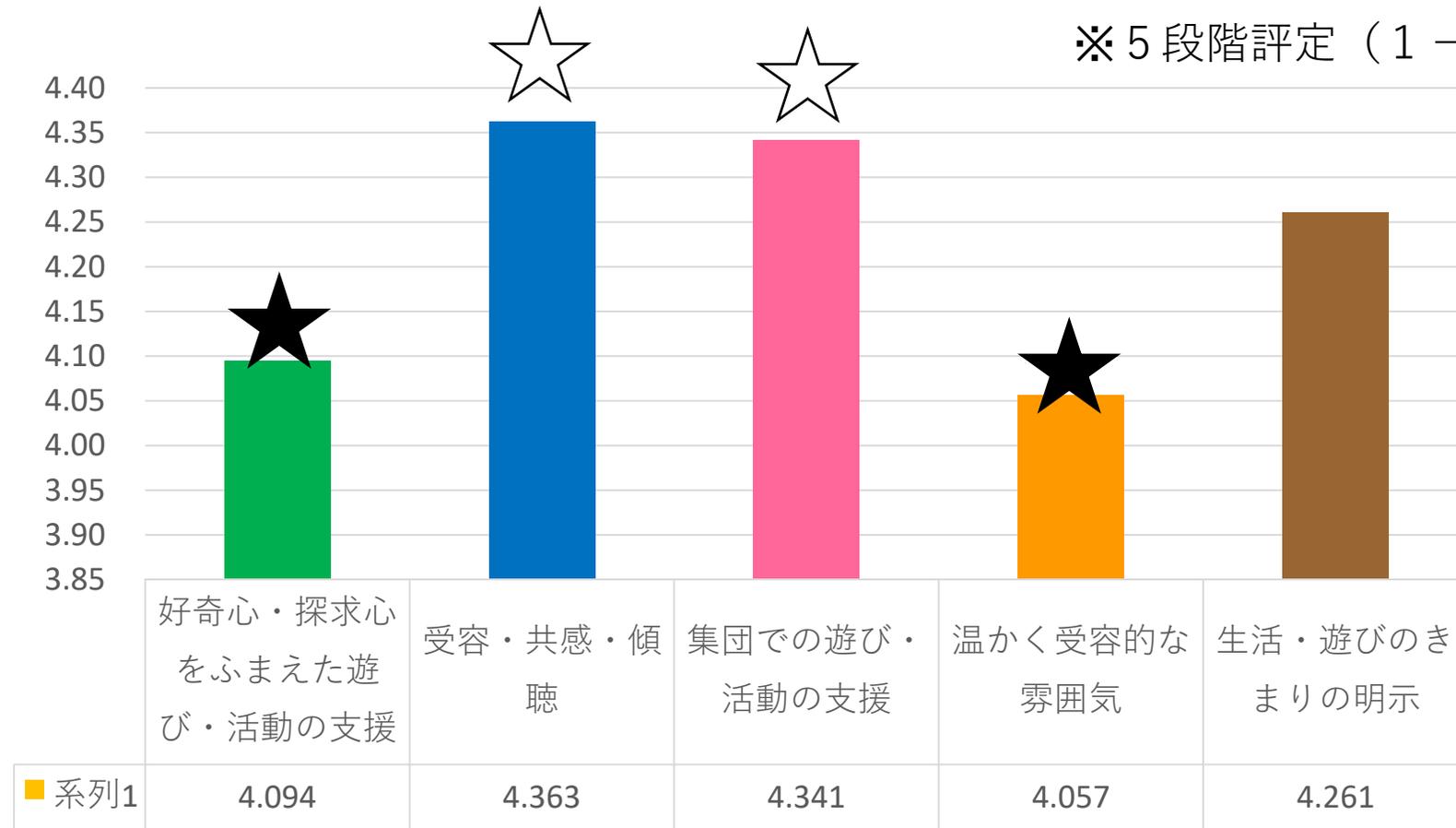
回答者数：5416名

※ 5段階評定（1 - 5）

子どもが身の回りの物に興味や関心をもつことを促している
子どもの疑問や好奇心をくみ取り、遊び等に反映させている
子どもの疑問や好奇心について保育者や他の子と共に考える 他

# 「かかわり」の特徴（5歳児クラス）

※5段階評定（1 - 5）



保育者の子どもたちへの接し方は温かいものである  
 子どもたちが自分の考えや欲求を表現しやすい雰囲気である  
 クラスは落ち着いてくつろいだ雰囲気である

回答者数：5444名

# かかわりの質と職務負担感

- 全施設形態・全年齢（1・3・5歳児）クラスに共通して、  
2種類の負担感が共通にかかわりの質得点の低さと関係

## 子ども・保護者対応に まつわる負担

- 気になる子どもへの対応
- 自分と保護者の、子どもに対する理解の違い
- 一人ひとりの子どもとの関わりを十分に持てない
- 自分と、保護者との関係

## 素材教材や研修時間の 不足にまつわる負担

- 十分な素材や教材を使用できない
- 研修時間を十分に確保できない

担任保育者の  
かかわりの質

# まとめ

- 複数の観点の中でも、特に「受容・共感・傾聴（1・3・5歳児クラス）」「集団での遊び・活動の支援（3・5歳児クラス）」の得点が非常に高く、ここに日本における保育の特徴や良さを見出すことができる
- 一方、「好奇心・探求心をふまえた遊び・活動の支援」（3歳児・5歳児クラス）、「温かく受容的な雰囲気」（5歳児クラス）は他の観点に比べて平均値が低かった
- 「子ども・保護者対応に関する負担感」や「素材教材や研修時間の不足に関する負担感」を強く感じている保育者ほど、かかわりの質のスコアが低かった

## 「かかわり」の実態から示唆されること

日本の保育の良さや強み、独自性を保ちながら、国際的にも発信していくことが今後ますます求められる。

課題に対しては、負担感の軽減とともに、国際的な動向をふまえて諸外国の先進的な取り組み等に学ぶことも重要であると考えられる。

# リーダーシップの分析結果

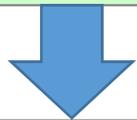
# 「リーダーシップ」を捉える視点

- 質の高い保育・幼児教育のためには、園長先生のリーダーシップを含む専門性向上が重要  
(Sims et al., 2014; Siraj et al., 2015).
- リーダーシップは、「学び続ける組織」とそのポジティブな変化や成長に不可欠 (Fullan, 2001).
- 効果的なリーダーシップは、子どもたちの学び・健康・社会性の発達・ウェルビーイングにポジティブな影響  
(Siraj-Bratchford & Manni, 2007).

# 「分散型リーダーシップ」への着目

## 階層的リーダーシップモデル

- **カリスマ性や権威のある**リーダーが、あらゆる運営、計画、指示を行い、他のスタッフが従う。



## 分散型・協働的リーダーシップモデル

- 組織のどこにでもリーダーシップが存在する (Raelin, 2003)  
リーダーの多いチーム (Rodd, 2013)
- **非階層的、柔軟、応答的**：組織のあらゆるレベルで、適切な知識や専門的技術をもち、主導し、変化や新しい機会を捉え、挑戦する力のあるリーダーが出てくる (McDowall Clark & Murray, 2012).

# 「分散型リーダーシップ」の構造

62

(Siraj-Blatchford & Hallet, 2014)

## 方向付けのリーダーシップ

- ヴィジョンの共有を促す
- 効果的なコミュニケーション

## 協働的リーダーシップ

- チーム文化の醸成
- 保護者との協働

## 分散型リーダーシップ

## 他者を力づけるリーダーシップ

- 他者の主体性を引き出す
- 変化の過程

## 教育のリーダーシップ

- 学びを促す
- 省察的学びを促す

- 項目作成にあたって参照した他の研究:  
国内の園長リーダーシップの質的研究、国内の校長リーダーシップ研究、看護師リーダーシップ研究、TALIS 2013

# 本調査結果から得られた リーダーシップの構造

①組織の運  
営・園の風土

②専門性向上  
の支援

③日々の保育  
実践の援助

④方針・理念  
の明示

⑤保護者との  
連携

ある観点に注力されている施設長は、別の観点にも力を入れておられた（5領域の得点には正の相関）

## ①組織の運営・園の風土

- 職員の仕事に対する意見や要望等を尊重している
- 職員が意見等を出しやすい雰囲気を作っている
- 職員がやりがいを持って働き続けやすいよう支援している

## ②専門性向上の支援

- 保育制度や政策に関わる情報収集を積極的に行っている
- 保育実践に関わる書籍や保育雑誌を積極的に購読している
- 園外研修や学会等に積極的に参加している

## ③日々の保育実践の援助

- 保育計画や保育日誌等の内容を確認している
- 新任の保育者に子ども等との関わりを指導している
- 園内を回り、子どもや保育者の様子を見ている

## ④方針・理念の明示

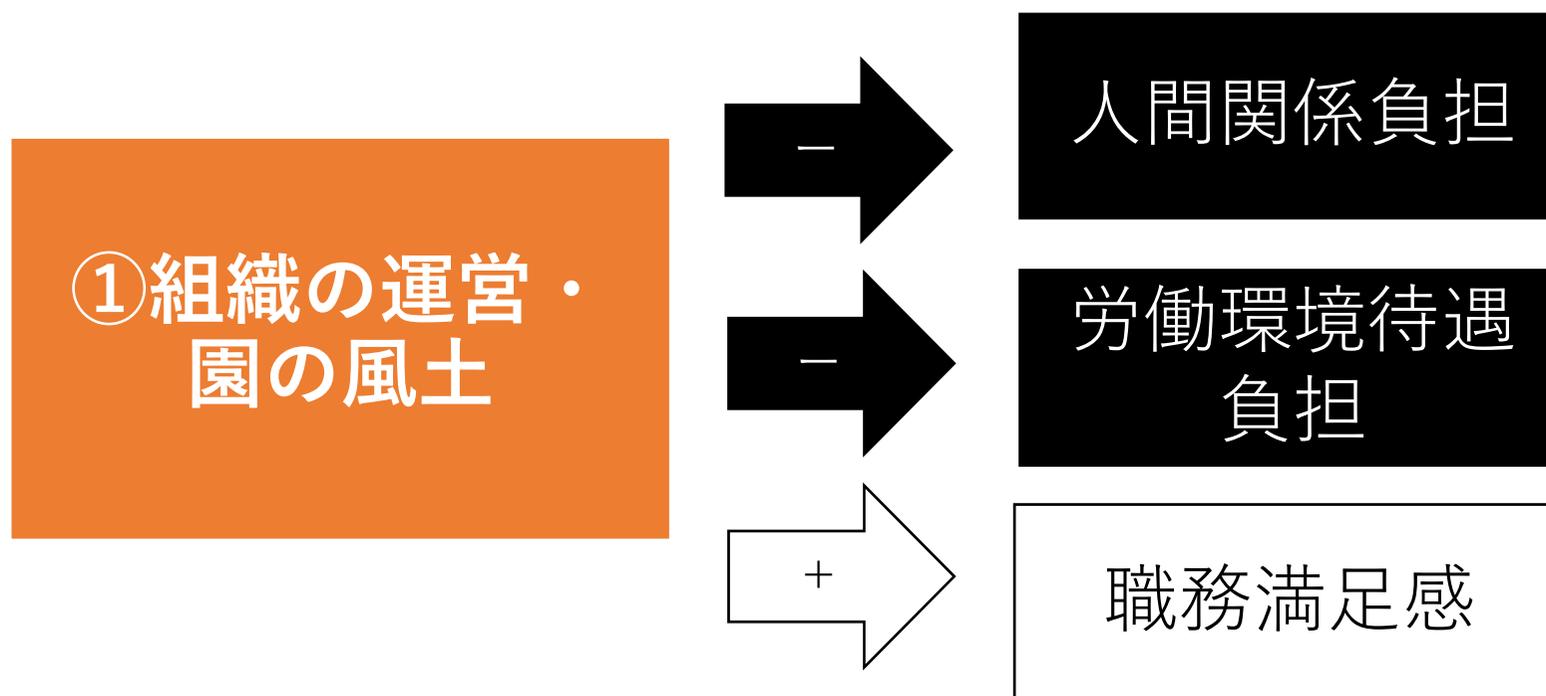
- 園の経営理念・方針を明確に示している
- 園の保育理念・方針を明確に示している

## ⑤保護者との連携

- 保護者からの要求・要望に応じている
- 保護者からの要求・要望に率先して対応している

## 園長のリーダーシップと 担任保育者の負担感・満足感

- ・園長が「組織の運営・園の風土」向上により積極的に取り組んでいる場合、担任保育者の「人間関係にまつわる負担」「労働環境・待遇にまつわる負担」が低く、職務満足感が高い



# リーダーシップと 「かかわり」「環境構成」

- 園長のリーダーシップ得点（5つの観点の合計点）が高いほど、担任保育者の「かかわり」「環境構成」の質得点も高かった

## 管理職のリーダーシップ （取り組みの合計点）

①組織の運営・園の風土

②専門性向上の支援

③日々の保育実践の援助

④方針・理念の明示

⑤保護者との連携

+

担任保育者の  
プロセスの質  
（環境構成・かかわり）

# 優れたリーダーシップを予測する要因

- 全施設形態において、  
園長自身の「**園外研修参加頻度**」がリーダーシップ得点の高さを最も強く予測した

幼稚園	<b>園外研修参加頻度***</b> 年齢** 現場経験** 性別**
認定こども園	<b>園外研修参加頻度***</b> 性別** 現場経験**
認可保育所	<b>園外研修参加頻度***</b> 現場経験年数*** 園長経験年数×保育士資格*** 性別**
小規模保育所	<b>園外研修参加頻度***</b> 園長経験年数×保育士資格**
認可外保育施設	<b>園外研修参加頻度***</b> 性別*** 現場経験の有無***

\*\*\*  $p < 0.01$  \*\*  $p < 0.05$

## 優れたリーダーシップを予測する要因

- 園長の**免許・資格、園長経験年数**の効果は施設形態によって異なっていた。
  1. 認可保育所と小規模保育所...保育士資格を有する園長は、園長経験年数が高いほどリーダーシップが高くなる
  2. 認可外保育施設...園長経験年数の長さや保育士資格を有することがリーダーシップの高さと関連
  3. 幼稚園...幼稚園教諭免許を有することがリーダーシップの高さと関連
  4. 認定こども園...資格・免許や経験年数の効果なし（施設移行直後であることが関係する可能性）

# まとめ

- 園長先生のリーダーシップのスコアが高いほど、
  - 担任保育者の負担感（特に、人間関係に関する負担感）が低く、満足感が高かった
  - 担任保育者のプロセスの質（保育環境構成・かかわり）のスコアが高かった
- 園長先生のリーダーシップのスコアは、園長先生の園外研修参加頻度が多いほど高かった。一方、資格・免許や園長経験年数とリーダーシップの関係は、施設形態によって異なっていた。

## 「リーダーシップ」の実態から示唆されること

園長先生の分散型リーダーシップの高さと、労働環境の良さや保育プロセスの質の高さとが関係していることが示唆された。

保育者の離職防止、日々の保育実践の向上と子どものより良い育ちのために、「分散型リーダーシップ」の取り組みが重要と考えられる。

# 園調査のまとめ

## 本調査の意義

- これまで経験知として語られてきた実態や課題が、**全国規模のデータに基づき実証**されたこと
- 全国のあらゆる施設形態を対象としたことで“保育の質”について、**施設形態や地域の特徴ごとの課題**を明らかにしたこと

## 今後の課題

- “保育の質”の鍵であると考えられる**園の規模や人数比、クラスサイズ**も考慮に入れた分析
- **実数**（面積、人数、労働時間、給与の額等）も含め、意識と実態を組み合わせた分析
- 設置主体や運営主体、**自治体の取り組み**との関連の検討

 **今後分析を進め、報告書や論文、書籍等で発表予定。**

# 引用文献

- de Schipper, Riksen-Walraven, Geurts, & Derksen (2008) General mood of professional caregivers in child care centers and the quality of caregiver–child interactions, *Journal of Research in Personality*, 42(3), 515-526.
- Fullan, M. (2001) *Leading in a Culture of Change*. San Francisco: Jossey-Bass.
- Goelman, H., Doherty, G., Lero, D., LaGrange, A., & Tougas, J. (2000). *Caring and learning in chld care centres across Canada*. Guelph: University of Guelph Centre for Families, Work and Well-Being.
- T.ハームズ, D. クレア, R.M.クリフォード著, 埋橋玲子訳 (2008) 保育環境評価スケール①幼児版,. 世界文化社.
- T.ハームズ, D. クレア, R.M.クリフォード著, 埋橋玲子訳 (2009) 保育環境評価スケール②乳児版,. 世界文化社.
- 「保育プロセスの質」研究プロジェクト (2010) 子どもの経験から振り返る保育プロセス—明日のより良い保育のために, 幼児教育映像制作委員会.
- 金田利子・諏訪きぬ・土方弘子編著 (2000) 「保育の質」の探究—「保育者—子ども関係」を基軸として—, ミネルヴァ書房.
- Litjenz, I. (2013) Literature Review on Monitoring Quality in Early Childhood Education and Care (ECEC), OECD, Paris.
- McDowall Clark, R. & Murray, J. (2012) *Reconceptualizing Leadership in the Early Years*. Maidenhead: Open University Press.

- OECD (2006) *Starting Strong II: Early Childhood Education and Care*, OECD Publishing.
- Phillipsen, L.C., M.R. Burchinal, C. Howes, D. Cryer (1997), The Prediction of Process Quality from Structural Features of Child Care. *Early Childhood Research Quarterly* 12, 281–303.
- Raelin, J. (2003) *Creating Leadersful Organizations*. San Francisco, CA, and London: Sage.
- Rodd, J. (2013) *Leadership in Early Childhood: The pathway to professionalism 4th ed.*, Berkshire, UK: Open University Press.
- Sims, M., Forrest, R., Semann, A. & Slattery, C. (2014) Conceptions of early childhood leadership: driving new professionalism?, *International Journal of Leadership in Education*, 18(2), 149-166.
- Siraj-Blatchford, I. & Manni, L. (2007). *Effective Leadership in the Early Years Sector (The ELEYS Study)*. London: Institute of Education.
- Siraj-Blatchford, I. & Hallet, E. (2014) *Effective and Caring Leadership in the Early Years*, London: SAGE Publications.
- Siraj-Bratchford, I., Sylva, K., Muttock, S., Gilden, R. and Bell, D. (2002) *Researching Effective Pedagogy in the Early Years*, EdFS Research Report 356. London: DfES.
- Siraj, I., Kingston, D., & Melhuish, E. (2015) *Assessing Quality in Early Childhood Education and Care: Sustained Shared Thinking and Emotional Well-being (SSTEW) Scale for 2-5-year-olds provision*. London: IOE Press. (邦訳：秋田喜代美・淀川裕美訳 (2016) 『「保育プロセスの質」評価スケール：乳幼児期の「ともに考え、深めつつけること」と「情緒的な安定・安心」を捉えるために』, 明石書店.)
- Taguma, M., Litjens, I, & Makowiecki, K. (2012) *Quality Matters in Early Childhood Education and Care: Japan*, OECD Publishing.
- 高山静子 (2014) 環境構成の理論と実践－保育の専門性に基づいて, エイデル研究所.